

[First Hit](#)[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

Generate Collection

Print

claim 19

L4: Entry 3 of 6

File: JPAB

Feb 12, 1993

PUB-NO: JP405037836A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05037836 A

TITLE: VIDEO CAMERA

PUBN-DATE: February 12, 1993

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

KOBAYASHI, KENJI

WAKIZAKA, AKIO

NEMOTO, SHOJI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

SONY CORP

APPL-NO: JP03190139

APPL-DATE: July 30, 1991

INT-CL (IPC): H04N 5/225

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent video recording mistake by informing it to the operator when a lens cap is loaded, interrupting power supply after a prescribed time so as to inhibit the video recording thereby enhancing the operability and the utilizing efficiency of a battery.

CONSTITUTION: The camera is provided with a detection means 3 detecting the loading of a lens cap 9, notice means 1, 17, 19 informing the loading of the lens cap 9 to the operator based on a detection output signal of the detection means 3, power save means 1, 25 interrupting the power supply on the condition of the elapsed time set in response to the detection output signal and inhibit means 1, 21, 23 inhibiting the recording based on the detection output signal. When a sensor 3 detects that the cap 9 is loaded to the lens 7, it is displayed on a view finder 17 to allow the system controller 1 to control issuing of an alarm tone by a buzzer 19 and the video recording is inhibited.

COPYRIGHT: (C)1993, JPO&Japio

[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

h e b b g e e f c e hc

e ge

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-37836

(43)公開日 平成5年(1993)2月12日

(51)Int.Cl.

H04N 5/225

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

F 9187-5C

E 9187-5C

審査請求 未請求 請求項の数1(全4頁)

(21)出願番号

特願平3-190139

(22)出願日

平成3年(1991)7月30日

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 小林 建治

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

(72)発明者 脇坂 明雄

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

(72)発明者 根本 章二

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

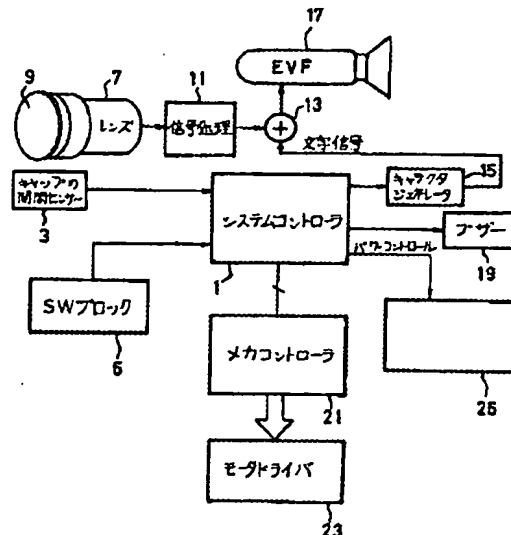
(74)代理人 弁理士 松隈 秀盛

(54)【発明の名称】 ビデオカメラ

(57)【要約】

【目的】 ビデオカメラの操作性を向上させるとともに、バッテリーの使用効率を向上させ、かつ録画ミスを防止する。

【構成】 センサー3により、レンズ7にキャップ9が装着されていることが検出されると、ビューファインダ17にその旨を表示するとともに、ブザー19により警告音を発する制御がシステムコントローラ1で行なわれ、かつ録画動作が禁止される。



本発明ビデオカメラの構成

【特許請求の範囲】

【請求項1】 レンズキャップが装着されていることを検出する検出手段と、
 検出手段の検出出力信号に基いて、レンズキャップが装着されていることを操作者に報知する報知手段と、
 前記検出出力信号にตอบสนองして、予め設定された時間経過を条件として電源をオフ状態とするパワーセーブ手段と、
 前記検出出力信号に基いて、録画動作を禁止する禁止手段と、
 を有することを特徴とするビデオカメラ

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、遠隔操作などを行なう際に好適なビデオカメラに関する。

【0002】

【従来の技術】一般に、ビデオカメラでは、レンズキャップが装着された状態で電源がオンとされても、ビューファインダには画像が出ない（暗い状態）。

【0003】また、電源がオン状態のままレンズキャップを装着してしまう場合がある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】そのため、ビューファインダをのぞいたときに故障していると勘違いして操作者に不安感を与えるおそれがあり、操作性の点で問題となる。

【0005】また、バッテリーが無駄に消耗される場合がある。

【0006】加えて、遠隔操作時等、ビューファインダをのぞけないときには、レンズキャップが装着されたまま録画動作され、録画ミスを起こすおそれがある。

【0007】本発明の目的は、操作性が向上されるとともに、バッテリーが効率良く使用でき、かつ録画ミスを防止することができるビデオカメラを提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明に係るビデオカメラは、レンズキャップ9が装着されていることを検出する検出手段3と、検出手段3の検出出力信号に基いて、レンズキャップ9が装着されていることを操作者に報知する報知手段1、17、19と、前記検出出力信号にตอบสนองして、予め設定された時間経過を条件として電源をオフ状態とするパワーセーブ手段1、25と、前記検出出力信号に基いて、録画動作を禁止する禁止手段1、21、23と、を有することを特徴とする。

【0009】

【作用】本発明に係るビデオカメラでは、レンズキャップが装着されているときには、その旨が操作者に報知され、所定時間経過後に電源が自動的にオフされるとともに、録画動作が禁止される。

【0010】

【実施例】以下、本発明に係るビデオカメラの好適な実施例を、図面に基いて説明する。

【0011】図1に示されたように、マイクロコンピュータ等を主体して構成されるシステムコントローラ1には、センサー3、各種スイッチ類5からの出力信号が取りこまれており、センサー3では、レンズ7にキャップ9が装着されているか否かが検出される（検出手段）。

【0012】なお、レンズ7からの出力信号は信号処理回路11を介して加算器13に入力され、加算器13には、キャラクタジェネレータ15の出力信号も入力されて、ビューファインダ17に出力される。

【0013】そして、システムコントローラ1では、キャラクタジェネレータ15、ブザー19、DDコン25、およびモータドライバ23が各々動作制御され、モータドライバ23は、マイクロコンピュータ等で構成されるメカコントローラ21を介して制御される。

【0014】以上の構成により、センサー3でレンズ7にキャップ9が装着されていることが検出されると、システムコントローラ1では、その検出出力信号に基いて、ビューファインダ17にその旨を表示する指示がキャラクタジェネレータ15に与えられる（報知手段）。

【0015】この場合、ビューファインダ15への表示においては、例えば「レンズキャップ」の文字が点滅される。

【0016】また、報知手段としては、ブザー19により警告音を発生させる構成も挙げられる。

【0017】そして、電源（スイッチ類5の中に電源スイッチが設けられている）がオフとされて、所定の時間（例えば、1分間）経過すると、システムコントローラ1により、電源をオン・オフさせるDDコン25が制御されて、電源がオフとされる（パワーセーブ手段）。

【0018】また、レンズ7にキャップ9が装着された状態で録画スイッチ（スイッチ数5の中に設けられている）が押されると、ビューファインダ17にキャップ9が装着されていることが表示されるが、またはブザー19により警告音が発せられるとともに、録画動作が行なえないようにメカコントローラ21が制御される（禁止手段）。

【0019】以上説明したように、この実施例では、キャップ9が装着されていると、ビューファインダ17にその旨が表示されるので、操作者が故障と勘違いするなどの不都合がなく、操作性が向上される。

【0020】また、所定時間経過すると、電源が自動的にオフとされるので、バッテリーが能率良く使用できる。

【0021】加えて、キャップ9が装着されているときには、録画が行なえなくなるので、録画ミスを防止することができる。

【0022】

【発明の効果】以上の説明で理解されるように、本発明に係るビデオカメラでは、レンズキャップが装着されているときには、その旨が操作者に報知され、所定時間経過後に電源が自動的にオフされるとともに、録画動作が禁止される。

【0023】従って、勘違いによる不安感が解消されて操作性が向上されるとともに、バッテリーが効率良く使用でき、かつ録画ミスを防止することができる。

【図面の簡単な説明】

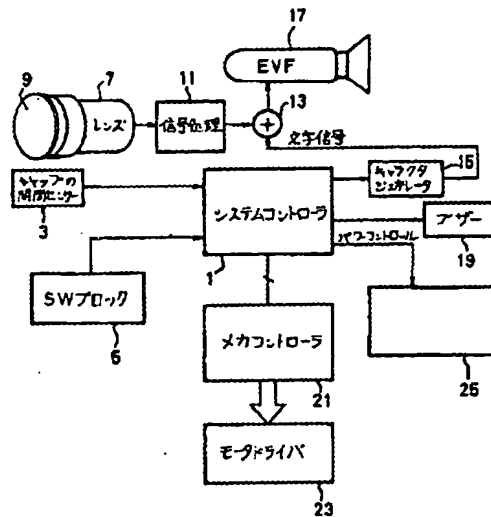
【図1】本発明に係るビデオカメラの好適な実施例のブ

ロック構成図である。

【符号の説明】

- 1 システムコントローラ
- 3 センサー
- 5 スイッチ類
- 7 レンズ
- 9 キャップ
- 17 ビューファインダ
- 15 キャラクタジェネレータ
- 10 19 ブザー

【図1】



本発明ビデオカメラの構成

【手続補正書】

【提出日】平成3年9月27日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 レンズキャップが装着されていることを検出する検出手段と、
検出手段の検出力信号に基いて、レンズキャップが装着されていることを操作者に報知する報知手段と、
前記検出力信号に基いて、予め設定された時計経過を条件として電源をオフ状態とするパワーセーブ手段と、
前記検出力信号に基いて、録画動作を禁止する禁止手

段と、

を有することを特徴とするビデオカメラ。

【請求項2】 前記検出手段の検出力信号に基いて、フォーカスモータおよびズームモータの動作が禁止されるモータ動作禁止手段が備えられた、ことを特徴とする請求項1に記載のビデオカメラ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正内容】

【0018】また、レンズ7にキャップ9が装着された状態で録画スイッチ（スイッチ類5の中に設けられている）が押されると、ビューファインダ17にキャップ9が装着されていることが表示されるか、またはブザー1

9により警告音が発せられるとともに、録画動作が行えないようにメカコントローラ21が制御される（禁止手段）。さらに、レンズ7にキャップ9が装着されていることが検出されると、フォーカスハンチング防止と、パワーセーブのため、フォーカスモータとズームモータの動作が、メカコントローラ21により停止（禁止）される（モータ動作禁止手段）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正内容】

【0021】加えて、キャップ9が装着されているとき

には、録画が行えなくなるので、録画ミスを防止することができる。なお、図1から理解されるように、キャップ9が装着されていることを検出する手段としては、カメラ映像信号情報が信号処理回路11からカメラコントロール用マイクロコンピュータ10に取り込まれ、映像全体が黒のとき、キャップ9が装着されていると判断する構成も可能である。

【手続補正4】

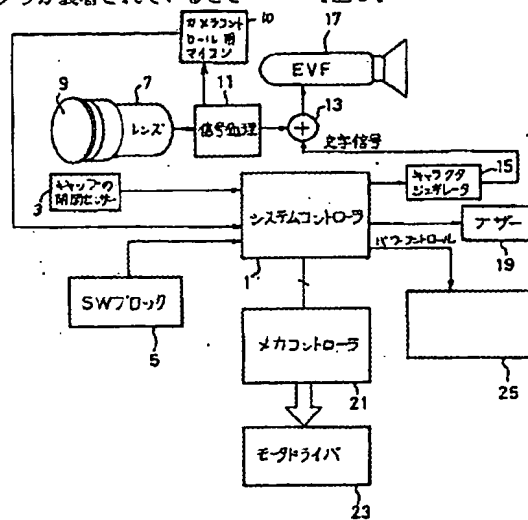
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正内容】

【図1】



本発明ビデオカメラの構成